

なとりがわ

■ N a t o r i g a w a ■

「何もなき 師走の流れ 早きかな」



管内に白鳥が飛来しています(広瀬川)

12月の和名は「師走(しわす)」ですね。お坊さんがお経をあげに走り回るからこのように言われています。「師走」は別名「限りの月(かぎりのつき)」「除月(じよげつ)」とも言われます。旧年を払い取り除いて、1年を締めくくる月という意味からきています。皆さんはこの師走が1年間の災いを取り除き、新しい一年に思いを馳せる月になったのでしょうか。新年こそは明るい年を迎えられること、明るいスタートとなることを、心から願います。

■第4回若林シーサイドマラソンが実施されました。

＜主催＞若林シーサイドマラソン実行委員会

今年度第4回目となる「心をつなぐ若林シーサイドマラソン」が、名取川左岸河口部をスタート地点とし、藤塚～荒浜地区をコースとして開催されました。このマラソンは、東日本大震災で被害が甚大であった地域である、若林区沿岸部藤塚地区の震災の経験を風化させないこと、また、復興により変わりゆく道程を確認してもらうことを目的として行われています。当日は、晴天の中、約1,300名のランナーが参加され、被災前の姿に思いを馳せながら駆け抜けました。

(実施日 R1.12.8)



堤防上では、真剣な表情でスタート前のアップをしていました。



一斉に名取川河口から北貞山運河を北上し、スタートしました！



避難の丘で、名取川を眺めながらゴールを待つ姿も・・・



ゴール前のラストスパート！

■ 工事現場の安全パトロールを実施しました。



工事の事故防止対策の一環として、名取川出張所管内の「広瀬川長町地区漏水対策工事」の工事現場で安全パトロールを実施しました。仙台地区の施工者・発注者が合同で工事現場及び現場事務所の点検を行いました。クレーンなどの建設機械の事故防止、資機材の整理状況等についてチェックシートをもとにパトロールを行い、その後の検討会において意見交換を行いました。意見交換で話し合われた改善点等の対策を行いながら、引き続き、無事故で取り組んで参ります。

(実施日 R1.12.3)

■ 管内の工事現場だより ■

名取川河道整正工事

(株)深松組

現場代理人 佐々木 祥太さん



点線で囲んだ範囲の平水位より上の土砂を撤去し、流下能力を上げる工事を行っています。「平水位」とは、観測回数の中で半分はその水位より高く、半分はその水位より低い水位で、1年を通じ185日はこれより下らない水位のことをいいます。



当該工事は、近年激甚化している災害を踏まえ国土交通省の施策「防災・減災・国土強靱化のための3ヵ年緊急対策」の事業の一環として、名取川に堆積している堆積土の撤去と河川敷に生い茂った樹木の伐採を行っております。河道内の障害物を撤去することにより、洪水を安全に流せるようになり河川氾濫の危険性を低減する効果が得られ地域の皆様の安全・安心につながります。工事期間中は、重機の稼働や撤去した堆積土を河川敷内で運搬することとなりますが、安全第一で施工してまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



ICT建機を使用し、掘削形状を建機内のモニターで確認しながら堆積土砂の撤去作業を行っています。

国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所名取川出張所
〒982-0003 仙台市太白区源兵衛東63番 TEL022-248-2249 FAX022-248-2249
<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/natori/index.html>

Commune
with
River